

秋田駅観光拠点化工事に伴う仮囲いに装飾を行います！

JR秋田支社は、秋田県及び秋田市と昨年9月に「地方創生に向けたコンパクトなまちづくりに関する連携協定」を締結し、秋田駅周辺の活性化に向けた取組みを進めており、その一環として、秋田駅の観光拠点化リニューアル工事を実施しています。

この度、JR秋田支社と本工事を施工する第一建設工業は、秋田公立美術大学と連携し、東西自由通路の良好な環境を整えるとともに、3月末に開業する施設の期待感を醸成するため、工事に伴う仮囲いに装飾を施します。

本装飾は、来年1月中旬から来年3月中旬まで設置します。

1 実施概要

- ・ 本装飾は秋田駅観光拠点整備工事の進捗に伴い設置する約50mの範囲にわたる仮囲いに実施するものです。
- ・ 秋田公立美術大学景観デザイン専攻小杉准教授、萩原助手及び学生の皆さまの協力のもと、秋田駅の新しい待合ラウンジと観光案内所の内装に使用するLVL（木材加工製品）から発生する端材等を用いて、開業後の木質空間と関連性のあるオブジェを装飾します。
- ・ 木材の端材にはマグネットを取り付けており、期間終了後、お客さまに配布する予定です。配布時期等の詳細は決定後に改めてお知らせします。

2 設置期間

2017年1月中旬～3月上旬（予定）

3 設置者

第一建設工業株式会社
(秋田駅観光拠点整備事業の施工者)

4 装飾イメージ



エキマド

-ekimado-

窓から覗く樹木のアート

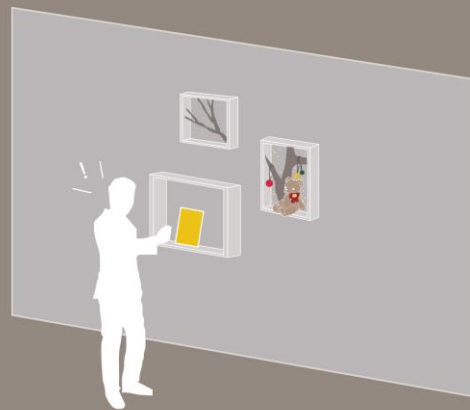
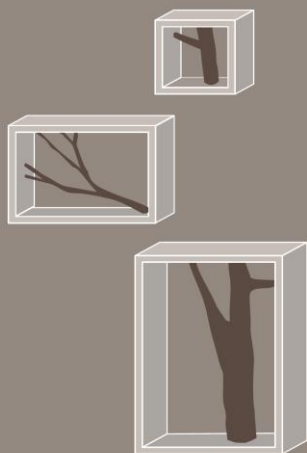


1

木の枝をはめ込んだ木窓のフレームは複数のモジュールで構成される。

2

窓はパンフレットやおススメの商品などを置くディスプレイ棚としても利用可能。



3

LVLの端材を利用した3種類の装飾パーツは時期や設置箇所によって装飾の種類が異なる。

4

工事終了後、壁面の装飾はマグネットとして地域の人に利用してもらう。



コノハ



ユキ



サクラ

